



町長室だより

築上町長 新川 久三



いよいよ今年も最後の月となりました。御世代わりにより年号が令和となり、新しい時代へと移行しました。

行く舟を見送ってくれました。フィナーレには約30分間花火が上がり、素晴らしい水上パレードでした。

柳川市「白秋祭」

11月2日は北原白秋さんの命日です。柳川市では毎年この時期「白秋祭」が行なわれています。最終日の11月3日、福岡県名勝庭園協議会会長の金子柳川市長から招待を受け、会員自治体の皆様とともに参加をさせていただきました。

約80艘のどんこ舟が午後6時に川下りに出発。濠の各所に組まれたステージでは、北原白秋の童謡のコーラス、和太鼓、雅楽、市民吹奏楽団や伝習館高校吹奏楽部の演奏など数え切れないほどの催しが行われ、金子市長や大相撲琴奨菊関、観光柳川キャンペーンレディの皆さんが通り

た。当時は天候不順で凶作が続き、農民たちは飢えに苦しみ、延塚奉行は小倉藩に年貢の免除などを申し出ました。しかし藩の財政も苦しく、申し出を却下された奉行は独断で根付料の免除の触れを回し、藩への不忠の責任を取って自刃しました。

延塚奉行の遺徳を偲び、昭和30年当時の椎田町長、辻畑重俊氏が発起人代表となり、延塚奉行顕彰会が発足しました。この顕彰会では毎年各戸に百円募金をお願いしており、ご芳志は顕彰武道大会、追善供養祭、浜の宮と小山田にある顕彰碑の維持管理の経費に充てさせていただいております。

本町にとって延塚卯右衛門さんは未来永劫かけがえのない方であり、遺徳を後世に伝えていかなければならないと思っております。今後とも皆様のご理解を宜しくお願いいたします。

皆様には、健康に留意して良いお年をお迎えください。

延塚奉行追善供養祭

天保7（1836）年旧暦の12月1日未明、築城郡筋奉行、延塚卯右衛門が椎田郡屋において自刃しまし